

留学先国名 : イギリス

留学先学校名 : Sussex Downs College

留学期間 : 平成 27 年 2 月 22 日 ~ 平成 27 年 8 月 9 日

私の 6 ヶ月間の留学生活は恵まれたものだった。私自身、海外での生活は初めてではなかったが、期間も違えば場所も違う。なんてたって 4 年振りの留学で今回の留学に向けて準備をする内に楽しみよりも不安の方が大きかった。しかし、今振り返ってみると、「かけがえのない時」をイギリスで過ごせたと強く感じる。

日本から遠く離れたこの地で、たくさんの異文化を発見した。最初の発見はイギリスに着いて 1 時間もない dinner でのことだった。到着したのが夜だったため、私を温かく迎え入れてくれたホストファミリーとすぐ食卓を囲んだ。話をする度に、ナイフとフォークを置いた時、「あら、もう食べないの?」と、食べ物でいっぱいのお皿を見て、ホストマザーが言った。私はそんなつもりではなかったのが、ナイフとフォークを揃えて置くことは「ごちそうさま」という意味になることを忘れていた。日本では、その文化がないため、日本との異文化を直に感じた。普段の食事の時でも、こちらの人はテーブルマナーに沿って上品にナイフとフォークを使う。食事の異文化はまだある。カレーライスや米などの料理にはフォークが使われる。日本人の私にとってそういうタイプのご飯は、スプーンで食べるのが主流だ。異文化は新しいことの発見で、とても興味深い。「郷に入れば郷に従え」ということわざがあるが、私は何かをする時はいつでも、イギリスならではの文化と習慣に敬意を払う。たとえその文化が私にとって驚きの連続であっても、現地の人と衣食住を共にすることで、貴重な伝統を感じることができる。

また、現地の学校に通っていて一つ気づいたことがある。それは、たくさんの国から同じように英語を学ぶにきた人たちと一緒に勉強をする中、日本人は「自信」と「積極性」に欠けているということを感じる。私もその内の一人で、日本のことでさえ、他国の人の方がより詳しくことにショックを受けたのも事実だ。日本人はある分野にだけ興味を持つ傾向にあり、その分野においても自身のなさから、クラスで発言することに少し抵抗を持ち、シャイな部分が出てしまう。英語においてもそうだ。アジアの中でも英語を話す人の数が圧倒的に少ない日本。その日本の英語に対する教育は、文法中心で「話す」分野にあまり力が入っていない。だから日本人が英語圏内に留学しても周りのインターナショナルの英語力に劣等感を感じるのが現実だ。今では小学校での英語教育は普及してきているが、まだまだ深く行き渡っていないことが大きな要因だ。そう気づいたことも、日本を離れて生活したことからこそのことだ。

イギリスで一番感銘を受けたのは、相手を尊重するイギリスならではの文化。「レディーファースト」という言葉があるが、どこへ行っても男性は女性への尊敬を忘れない。その場面に遭遇すると、自然と笑みがこぼれる。また、イギリス人は相手への感謝を忘れない。私のホストファミリーが代表的な例だ。夕食を作るのは大抵ホストファザーで、ホストマザーも「いつもありがとう」と面と向かって手を振りながら言うのだ。私はいつもこの風景を見ながら、何と素晴らしい関係なのだろうと思う。さて、どれだけの日本人が感謝を言葉

にして伝えているだろう。どれだけの日本家庭がこんな風に毎日愛を持って生きているだろう。日本もイギリスのように、毎日がやさしい愛であふれたら、もっと素敵になるだろう。

そして何より、留学での大きな収穫は人と人との出会いだ。ヨーロッパ人だけでなく、たくさんの地域の友達ができ、一期一会の意味を何度理解しただろう。それぞれ、ここに来た目的は違うけれど、共通言語の英語を話して、意思疎通してと友達になれる。仲良くできるのは、偏見などを全て捨て、お互いの文化や言語を尊重している証だ。また、ホストファミリーと6ヶ月の衣食住を共にすることでたくさんの経験をし、まるで本当の「家族」というものを作れた。この留学を通じて、数えきれないくらいたくさんの愛を知った。世界のあちこちで愛があふれている。ホストファミリーに夢の話聞かせると自信が持てる。夢の成り行きを話すと素敵だねと褒めてくれる。そして私たちは約束した。いつかキャビンアテンダントとして絶対に彼らを日本へ連れて行くと。大きな大きな夢だけれど、ここで出会えた友達やホストファミリーが私の応援団だ。私を支えてくれる人たちは世界中にいる。

この素晴らしい留学経験を、私は一生忘れることはできないだろう。英語に関しても、初めて英語を話すことに自信が持て、積極的に英語を使ってコミュニケーションをとる自分がある。たくさんの気づきとかけがえのない出会い、そして新しい自分への挑戦をくれたこの留学に感謝して、これからの人生の肥やしにしていこうと思う。

<これから留学する人へ>

この素晴らしい留学経験ができるチャンスをまずは感謝し、絶対に一日も無駄にしないでください。きっと新しい自分と出会えます。頑張ってください。